

## 成績や学力の事を考えると あそんでばかりの幼稚園はねえ

エンチョは、大学も私立の3流校。でも、知能は、人並みくらいにはあると、勝手に思い込んでいる。

しかし、わが子の受験勉強の様子を見ながら思う。親のIQ(知能)が高ければ、子どもは、こんな苦労しなくてすむのに、スマン、スマンって思う。

**あるある**  
 ママさんたちが、幼児期にあそびが大切って言っても、数年後には小学校に行くわけだし…勉強もね！！と思うのも、分かる！

**そんなママさんに、よい知らせです！**

**あそんでいても  
学力はつく！！**



それに…



**先生が直接教えるより、  
あそびの方が  
学習効果が高い！**

米国の心理学者の研究によって、科学的に証明されているのだ！…中でも、アメリカのパセック博士らのグループの研究によると、先生が授業のように子どもに教えるよりも、まったく子どもだけで自由にあそぶよりも、先生が子どもの活動に意図を持って支えながらあそびを進めていく「ガイドされた遊び\* (Guided play)」(Lillard 2013)が、子どもの社会情緒の発達、言語の発達などにとって、いちば～ん、効果がある！というのである。でも、

**そもそも、学校の成績は、  
知能指数IQによって左右  
されるんでしょ？…  
それに知能って遺伝するし、  
一生変わらないし…**



これも、どうやら、ちがうらしい、科学的には…

**「知能(IQ)は、状況や訓練で、  
どんどん変わるもの」**

「がんばったら、チョコレートあげるよ」だけでIQが上がるそう。科学的に…  
これで、子どもが、学校の成績を一方的に親のせいにするのは、どうやらできなくなるらしい。



他にも、科学的に証明されてます…

「将来の**社会的成功は、『質の高い保育』** を受けたかどうか、左右する」

学歴も高く、犯罪率や離婚率は低く、所得も多く、自分の家を持っているなどの社会的成功も幼稚園でどんな保育をしてもらったか？にかかっている、というのだ。 ノーベル賞経済学者シカゴ大学  
ジェームズ・ヘックマン教授研究より

しかも、質の高い保育とは、頭が良くなる(認知力)ように、勉強をさせてもらうことではないらしい。認知力より、ガマンができる、熱中できる、興味関心が持てる、意欲がある、根気がある、共感ができるなどの“非認知能力”を育ててもらうような関わりを保育者にしてもらえることが、重要らしい。それから、こんなことも科学的に証明されている。



**「学校の成績はIQより  
4才の時の自制心の  
育ちに左右される」**

(マシュマロ実験・別紙参照)

「カガクテキ！えらそうに！なんぼのもんじゃ！」とも言いたくなる。けど「たばこは健康によくない」というエビデンス＝科学的なデータを無視して、健康を扱うプロである医師が「タバコ、じゃんじゃん吸っていいよ～」とは言わない。科学的に証明されたことならば、それを尊重してこそプロといえるのだ。だから、エンチョは、小学校の先取りをしたような「ただのお勉強保育」はしないのである。